清流ニューズ

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jpn.org/

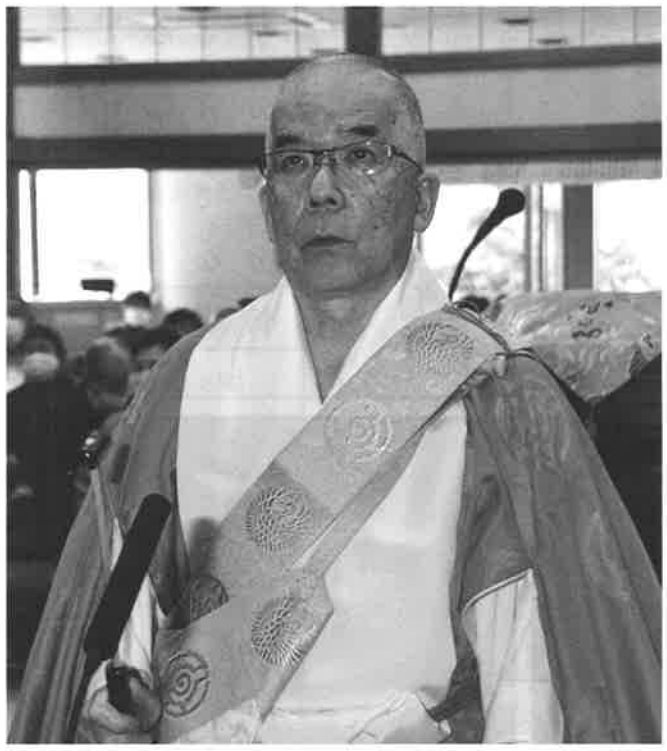
令和二年度総祈願

日序上人御廿三回忌報恩御奉公成就
本年度教化誓願達成
激励助行　随喜参詣　歓喜御講奨励　之御願
一人ひとり御会式参詣将引御奉公推進

十二月の御総講日
一日　十時　御修行日
七日　九時半　バースデー総講
日序上人報恩祈念
十三日　十時　高祖御命日
十七日　十時　開導御命日
廿五日　十時　門祖御命日
於清流寺
十二日　十時　高祖御逮夜
十六日　十時　開導御逮夜
廿四日　十時　門祖御逮夜
併歓尊御命日

会議
一日　御総講後　役中会議
十三日　午後二時　参事会
特別行事
七日　午後一時
日堯上人第尽七日忌法要

十月十八日 高祖会無事奉修之御礼



奉修御導師　新井日友導師

去る十月十八日（日）午前十時三十分より高祖会が奉修されました。

大宮・妙玉寺御高職・新井日友導師を奉修御導師にお迎えし、十五人の随伴参詣もいただきました。

コロナ禍の中での御会式の為、参詣席は、間隔をあけたソーシャル・ディスタンス方式で参詣していただきました。

当日は晴天で、まさしく御会式日和のお計らいの下、盛大に奉修されました。

年末年始の行事

十二月廿五日　御本尊御会式
日頃格護されている御本尊を、年に一度奉安して、法味供養をさせていただく行事です。
十二月三十一日　除夜法要
第一座　十九時
第二座　廿三時三十分
令和三年
一月一日　新年初御看経
第一座　廿四時
第二座　午前七時より
※第一座は、除夜法要の第二座に引き続き実施。
※正月三ヶ日の朝参詣は午前七時から八時まで
一月三日　新年初総講・成人式
羽村別院　新年初御看経
午後一時より実施
一月六日より寒参詣開始実施

令和三年度成人式 一月三日初総講で

一月三日の初総講に、令和三年度清流寺成人式を挙行いたします。

すでに申請書が配布されていると思われますが、部内を調査して、十七日迄に該当者を提出して下さい。

令和三年度 寒参詣 一月六日～二月四日 寒供養の申し込みはお早めに

一月六日より、令和三年度の寒参詣が始まります。

令和三年の寒供養は、コロナ禍の為に、御総講日と、日旺日のみ、ご供養させていただきます。

令和三年度 本山初灯明料 一月七日まで 奉納願います

宗門の三大奉納金の一つである、本山初灯明料は、宗門運営の資となるものですから志を深く、今から心がけて、一年のお初を本山のご宝前に奉納いたしましょう。

なお、清流寺の初灯明料は一月末日までに奉納願います。

同帰亭要語録

確固たる信念

賢人は八風と申して八つの風にをかされぬを賢人と申すなり。利衰毀誉称譏苦楽なり。おほむねは利あるによろこばず。衰ふるになげかず等の事なり。此八風にをかされぬ人をば必ず天まもらせ給ふなり

（四条金吾殿御返事）

風で軽いものは風の吹く度に動かされて少しも安定せぬが、どっしりと重い物は如何なる強い風が吹いてもビクともせず安定しています。確固たる信念をもった人は決して其の周囲の為に動かされず、終始一貫よくその道を守ってゆけるものです。所謂八風については仏地経論の中に

〝此の八法ハ世間ノ愛スル所、憎ム所ニシテ、能ク人心ヲ煽動スルガ故ニ之ヲ名ケテ風ト為ス。苟クモ心ニ主アリテ正法ニ安住シ、愛憎ノ為ニ惑乱セラレザレバ、即チ八風モ動カスコト能ハザルナリ〟

と、説かれています。

その八風とはこの御妙判にあるとおり、利衰毀誉称譏苦楽の八つですが先ず、利とは得意の境遇にあること衰とは失意の境遇に在ること。毀とはかげで非難すること。誉とは陰で称揚すること。譏とは其の人の前で非難することですが、苦楽というものは何事にもあるものであります。凡夫というものは利誉称楽を愛してやまず。衰毀譏苦を嫌って之を避けんがために常に心を労するものです。かくして互いに相争い、争いに勝つためには手段をえらばずということになるから、世の中の人間社会は益々苦労が多くなるのです。〝心ニ主アリ〟というのは確固たる信念をもっているということですがその信念の故に心が動かされるということはありません。

開導聖人は

信心は運のつよくなる本なれば信心を第一として今日をいとなみ給へば、信行の徳によりて、火盗病不慮損失の難をもまぬがれ、後生はたしかに申すに及ばず、今生も人とうまれしかひありて、御弘通の御奉公も成就するもの也と思召すべし

（仏立要義録）

と、御指南下されてあります。

信心第一の人が確固たる信念の人であることを知らねばなりません。